

| |
|------------|
| 専 門 教 養 |
| 令和 4 年 7 月 |
| 60分 |

| |
|-----------|
| 受 験 教 科 等 |
| 養 護 教 諭 |

注 意

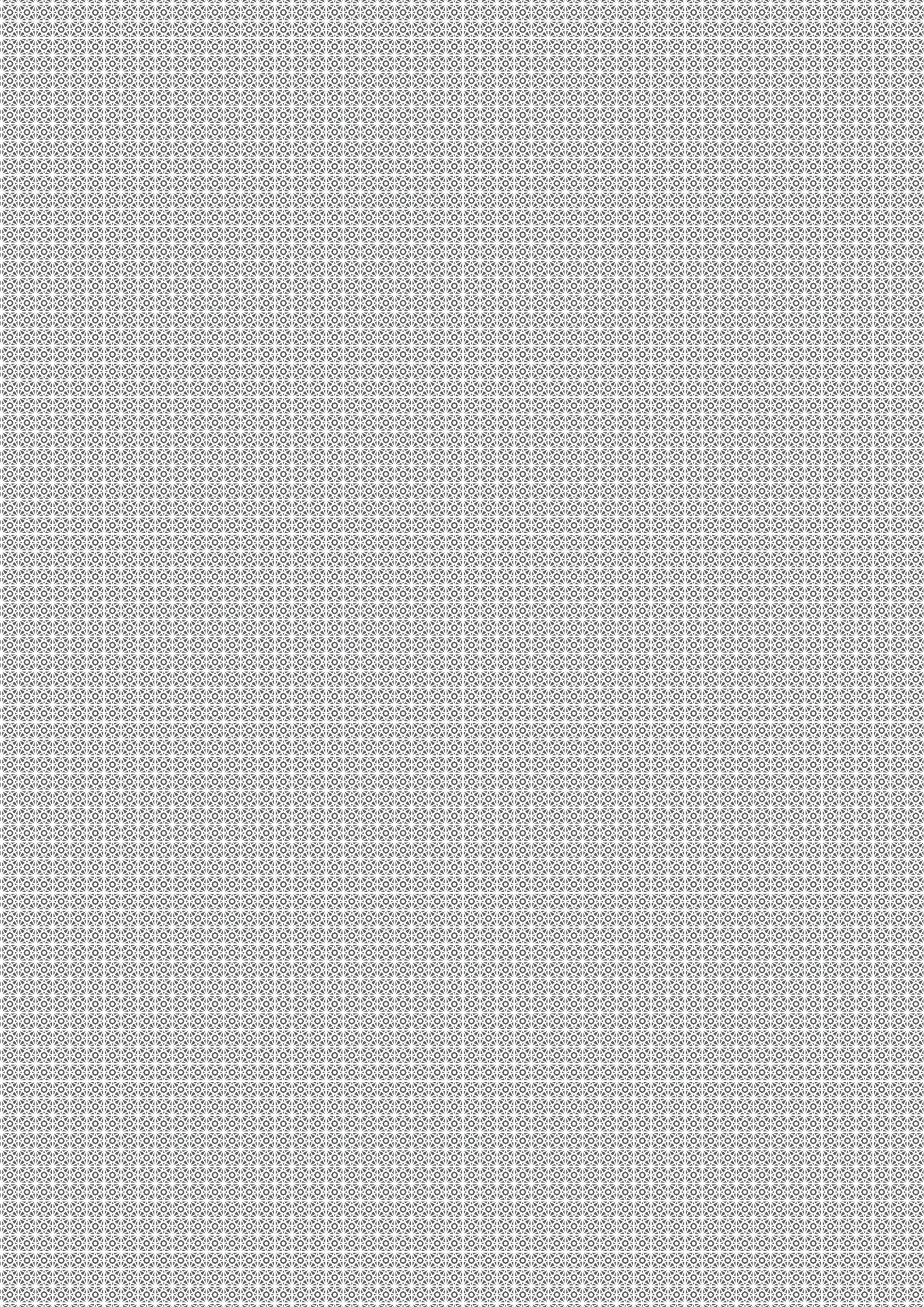
- 1 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- 2 全て係員の指示に従って、静粛に受験してください。
- 3 机上には、受験票、筆記用具、時計以外のものを出してはいけません。
- 4 他の受験者の迷惑になるような行為、スマートフォン等の使用及び不正行為をしてはいけません。
- 5 解答時間は60分です。途中退出はできません。
- 6 問題冊子のページ数は、15ページです。はじめにページ数を確かめてください。
- 7 解答用紙に、**必要事項が正しく記入・マークされていない場合には、解答は全て無効**となります。解答用紙の【1】の欄には、**受験番号**を記入し、**受験番号に対応する数字をマーク**してください。【2】の欄には、**氏名**を記入してください。ただし、【3】の**選択問題を表す欄のマークは不要**です。
- 8 問題冊子の余白等は、適宜使用しても構いませんが、どのページも切り離してはいけません。
- 9 問題文中の「学習指導要領」は、特に指示がある場合を除いて、平成29年、平成30年又は平成31年告示の「学習指導要領」を表しています。
- 10 問題の内容についての質問には一切応じません。

解答上の注意

- 1 解答は、問題文や解答用紙の注意事項に従って、解答欄にマークしてください。各問に対して、正答は一つだけです。**各解答欄に二つ以上マークした場合は誤り**とします。
- 2 「解答番号は 1。」と表示のある問に対して、3と解答する場合には、次の(例)のように解答番号 1 の解答欄の③にマークしてください。

(例)

| 解答 番号 | 解答欄 |
|---|-----------------------|
| 1 | ① ② ● ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⊖ |



1

法令及び学習指導要領に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 学校保健に関する記述として、学校保健安全法施行規則に照らして適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 児童生徒等の健康診断における検査の項目は、身長及び体重、栄養状態、脊柱及び胸郭の疾病及び異常の有無、視力及び聴力、眼の疾病及び異常の有無、耳鼻咽喉頭疾患及び皮膚疾患の有無、歯及び口腔の疾病及び異常の有無、結核の有無、心臓の疾病及び異常の有無、その他の疾病及び異常の有無の10項目である。
- 2 児童生徒等の健康診断のうち、結核の有無に関して、問診を踏まえて学校医その他の担当の医師において必要と認める者であって、結核に関し専門的知識を有する者等の意見により、当該者の在学する学校の設置者において必要と認めるものに対しては、エックス線直接撮影、喀痰検査その他の必要な検査を行うものとする。
- 3 学校において予防すべき感染症のうち、百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は五日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで、麻疹にあつては、解熱した後五日を経過するまで、風しんにあつては、発しんが消失するまでを出席停止の期間の基準とする。
- 4 校長は、学校内に、感染症のウイルスに汚染し、又は汚染した疑いがある物件があるときは、消毒その他適当な処置をするものとする。学校においては、その附近において、第一種又は第二種の感染症が発生したときは、その状況により適当な清潔方法を行うものとする。

[問 2] 中学校学習指導要領保健体育の「各学年の目標及び内容」の〔保健分野〕の「内容」において、身に付けることができるよう指導するとされている事項に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。
- 2 精神と身体は、相互に影響を与え、関わっていること。欲求やストレスは、心身に影響を与えることがあること。また、心の健康を保つには、欲求やストレスに適切に対処する必要があること。
- 3 交通事故を防止するには、車両の特性の理解、安全な運転や歩行など適切な行動、自他の生命を尊重する態度、交通環境の整備が関わること。交通事故には補償をはじめとした責任が生じること。
- 4 生活習慣病など生活行動が主な要因となって起こる病気の予防には、適切な運動、栄養の偏りのない食事をとること、口腔の衛生を保つことなど、望ましい生活習慣を身に付ける必要があること。

2 救急処置に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、ぜん息の発作に関する事例である。記述中の空欄 **ア** ・ **イ** に当てはまる語句の組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は **3** 。

小学校6年生の児童Aは、掃除の時間に、学級担任の教諭Bに付き添われて保健室に入室した。児童Aは、「教室の掃除をしていたら息が苦しくなってきた。」と話した。児童Aは、ぜん息の既往があり、学校生活管理指導表が提出されていた。

養護教諭Cは、児童Aの口唇や爪床を観察したところ、チアノーゼは認められなかった。次に、養護教諭Cは、児童Aの呼吸の状態を確認した。呼吸数は増加しており、明らかな陥没呼吸が見られ、明らかなぜん鳴が聴取されたが、意識の低下は見られなかった。

以上のことから、養護教諭Cは、児童Aにぜん息の **ア** が起きている可能性があると判断し、児童Aに楽な姿勢である **イ** になるように話し、学校生活管理指導表に基づいて対応した。

- | | | | | |
|---|----------|-----|----------|------|
| 1 | ア | 小発作 | イ | 膝屈曲位 |
| 2 | ア | 小発作 | イ | 座位 |
| 3 | ア | 中発作 | イ | 回復体位 |
| 4 | ア | 中発作 | イ | 座位 |
| 5 | ア | 大発作 | イ | 膝屈曲位 |
| 6 | ア | 大発作 | イ | 回復体位 |

〔問 2〕 次の記述は、眼部外傷に関する事例である。記述中の下線部の症状として適切なものは、下のA群の1～4のうちのどれか。また、記述中の空欄 **ア** に当てはまるものとして最も適切なものは、下のB群の1～4のうちではどれか。解答番号はA群が **4**、B群が **5**。

中学校2年生の生徒Aは、昼休みに保健室に来室した。生徒Aは、「今朝から、右目で見ると虫のようなものが浮かんで見えることがあり、気になったので保健室に来ました。」と養護教諭Bに話した。養護教諭Bは、生徒Aから飛蚊症を疑う発言があったので、生徒Aに見え方の検査を行ったところ、複視の症状はなかったが、左眼に比べて右眼の視野がわずかに狭くなっていることが確認された。

養護教諭Bが生徒Aに、「最近、目に物が当たったり、ぶついたりしたことはありませんでしたか。」と質問したところ、生徒Aは、「1週間前の放課後、友達と校庭でバドミントンをしていたときに、友達のラケットが私の右目に当たりました。そのときは痛かったですが、すぐに痛みがひいたので、大したけがではないと思っていました。」と答えた。養護教諭Bは、生徒Aにその他の症状について質問を続けたところ、光視症を疑うような症状が出ていることが分かった。

養護教諭Bは、**ア**の可能性があると判断して、そのことを生徒Aに伝え、養護教諭Bは生徒Aの保護者に連絡し、すぐ眼科を受診するよう伝えた。

【A群】

- 1 灯火の周りに虹色の輪が見える
- 2 光を見たときに異常にまぶしく見える
- 3 光を眼に当てたときに瞳孔径が小さくなる
- 4 光が当たっていないのに視野の一部に光を感じる

【B群】

- 1 視神経萎縮
- 2 水晶体脱臼
- 3 網膜剥離
- 4 眼窩底骨折

[問 3] 次の記述は、応急手当に関する事例である。記述中の下線部①～④のうち、救急の対応として**適切でないもの**は、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

小学校3年生の児童Aは、授業中、突然椅子から床に滑り落ちるように倒れた。倒れた際、全身が震え、すぐにチアノーゼが現れた。その後瞳孔が開き、意識不明となり、心肺停止が疑われた。

学級担任の教諭Bは、校内電話をかけ、緊急事態が発生したことを副校長Cと養護教諭Dに知らせた。電話を受けた副校長Cは、すぐさま救急車を要請した。養護教諭DはAEDを持って駆けつけた。

養護教諭Dは、状態を確認し、AEDの蓋を開け、電源を入れ、児童Aは10歳未満であるが、① 胸部2か所に成人用電極パットを貼り、心電図の解析を始めた。心電図の解析後、電気ショックが必要である音声メッセージが流れた。養護教諭Dは、② 離れるように周囲に注意を促した後、誰も児童Aに触れていないことを確認し、③ ショックボタンを押した。電気ショック完了後、養護教諭Dは、④ 胸骨圧迫を開始した。約2分後に再度心電図の解析が始まり、電気ショックが不要である音声メッセージが流れたが、児童Aの反応がなかったため、養護教諭Dは、⑤ 胸骨圧迫を継続した。しかし、児童Aの様子に変化はなく、学級担任の教諭Bと養護教諭Dは、救急隊が到着するまで、胸骨圧迫を継続した。

救急隊が到着後、養護教諭Dは、⑥ AEDの電源を切った後、児童AからAEDの電極パットをはがし、救急隊に引き渡した。学級担任の教諭Bは、病院へ同行した。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④

[問 4] 包帯法に関する記述として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 蛇行帯は、走行帯ともいい、身体の円筒状の部分に行われるが、円錐状の部分には適さない。
- 2 麦穂帯は、8字帯ともいい、主として関節部を中心にして用い、多少の運動が可能なように巻く。
- 3 螺旋帯は、前腕又は下腿のように太さの一樣でないところに巻き、ほぼ同じ幅で折り返し部位が一直線になるようにして、中枢部へ向かって巻く。
- 4 折転帯は、副子固定、粗いガーゼ固定、包帯の節約を図るための目的で施される。

3

保健管理に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の記述は、学校環境衛生活動に関する事例である。次のページの(1)、(2)の各問に答えよ。

小学校の養護教諭 A は、夏期休業日の児童が登校していない日に、学校薬剤師 B と学校内を巡回して、「学校環境衛生管理マニュアル『学校環境衛生基準』の理論と実践〔平成30年度改訂版〕」に基づいて、環境衛生の点検を行った。

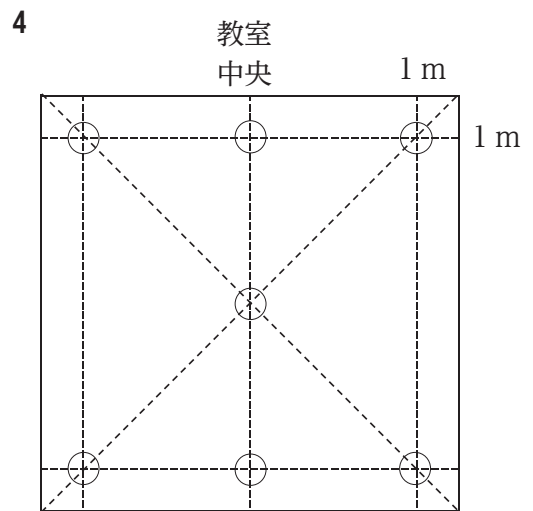
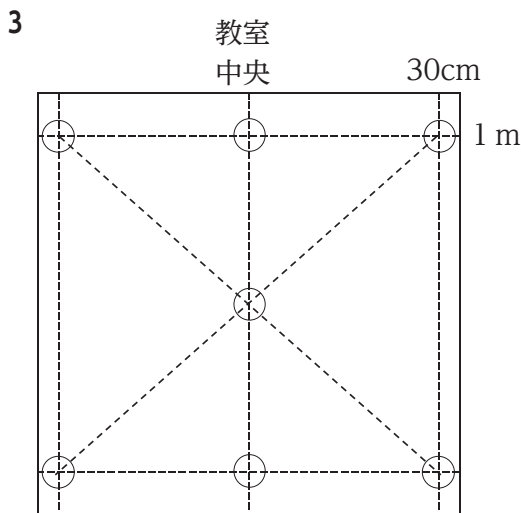
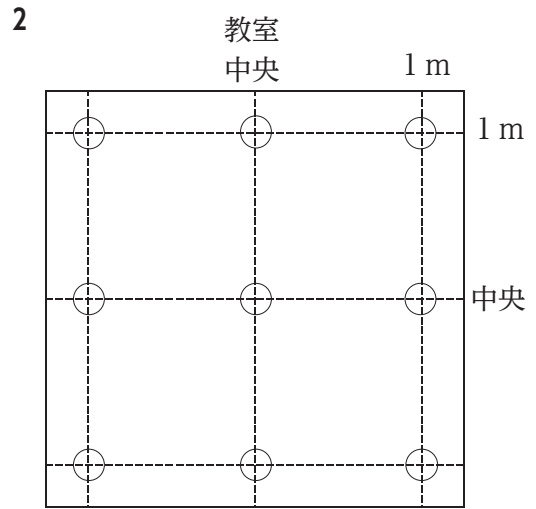
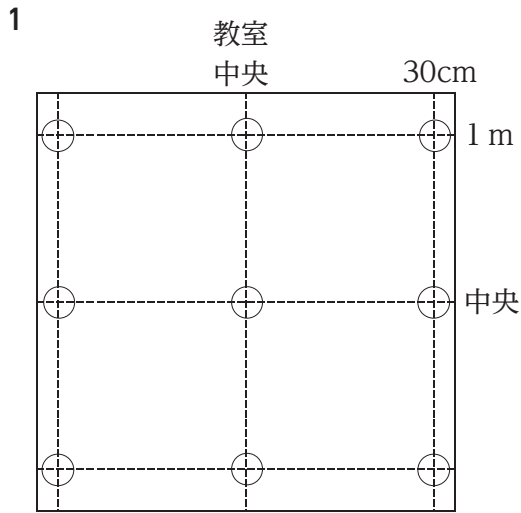
まず、教室及び黒板の照度を測定した。教室の照度は、学校環境衛生基準の図に示されている○印の位置に最も近い児童の机上で測定した。黒板の照度は、黒板の水平面照度を測定し、それらの最大照度、最小照度で示した。測定した教室及び黒板の照度は、いずれも学校環境衛生基準に適合していた。

次に、教室の騒音レベルの測定を行った。教室の窓側で測定したところ、学校環境衛生基準である、窓を閉じているときはLAeq50dB以下、窓を開けているときはLAeq55dB以下であった。教室の廊下側でも同様に測定したところ、学校環境衛生基準に適合していた。

続いて、飲料水の水質検査を行った。給水栓から取得した水で残留塩素濃度を測定したが、遊離残留塩素が検出されなかったため、10分間程度水を流して、再度測定したところ、遊離残留塩素は学校環境衛生基準である0.1mg/L以上が保持されていた。

最後に、ダニ又はダニアレルゲンの検査を行った。保健室の寝具の1m²の範囲を電気掃除機で1分間吸引して、ダニを捕集した。検査の結果、ダニは、学校環境衛生基準である100匹/m²以下であった。

(1) 記述中の下線部①について、学校環境衛生基準の図として適切なものは、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。



(2) 記述中の下線部②～⑤のうち、**適切でないもの**は、次の1～4のうちどれか。解答番号は 。

- 1 下線部②
- 2 下線部③
- 3 下線部④
- 4 下線部⑤

[問 2] 次の記述は、視力検査に関する事例である。下の(1)、(2)の各問に答えよ。

高等学校の養護教諭Wは、定期健康診断の日に欠席した生徒に対して視力検査を行うため、「児童生徒等の健康診断マニュアル 平成27年度改訂」に基づいて、保健室に検査器具等を準備した。まず、視力表を設置し、① 視標面の照度が600ルクスであることを確認した。次に、検査を受ける生徒が立つ位置を示すため、② 視標面から7m離れた床にテープで印を付けた。

生徒X、生徒Y、生徒Zが保健室に来室した。養護教諭Wは、生徒Xの視力検査を開始した。眼鏡を持参していた生徒Xに、③ まず、眼鏡をかけさせて視力を測定し、その後、裸眼の視力を測定した。

続いて、養護教諭Wは、生徒Yの視力検査を行った。生徒Yに、④ 最初に左眼を遮眼器で覆うように指示し、右眼の視力を測定した。生徒Yは、⑤ 両眼とも0.3、0.7及び1.0のいずれの視標も上下左右4方向のうち、3方向以上を正しく判別したため、「A」と判定した。

最後に、養護教諭Wは、生徒Zの視力検査を行い、⑥ 両眼とも「B」と判定した。

(1) 記述中の下線部①～⑤のうち、**適切でないもの**は、次の1～5のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④
- 5 下線部⑤

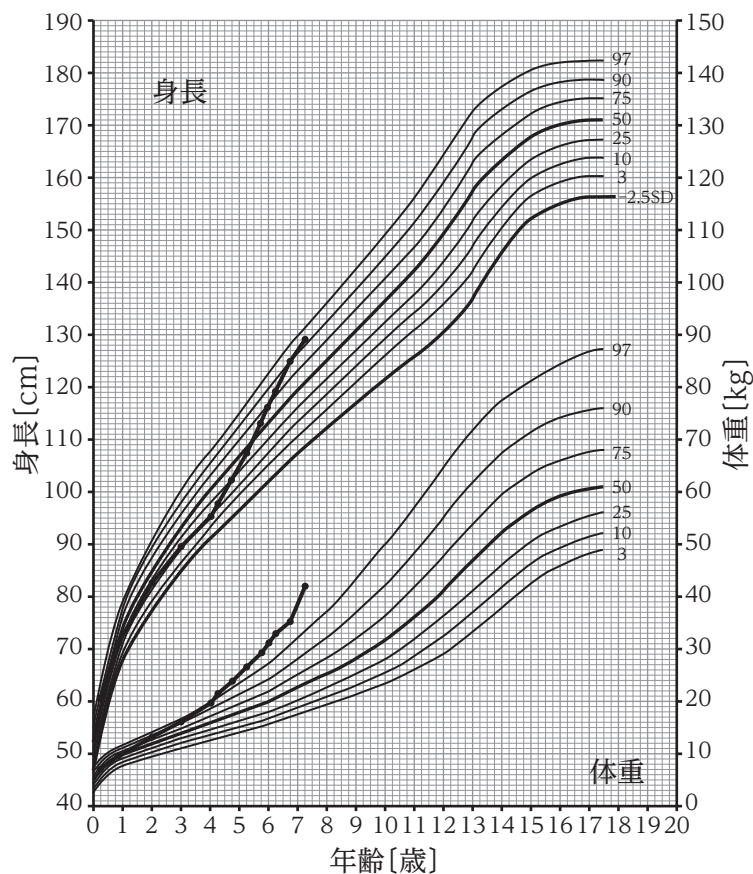
(2) 記述中の下線部⑥の判定の場合の視力及び、生徒Zに対する事後措置として適切なものは、次の1～4のうちのどれか。解答番号は 。

- 1 視力は0.9～0.7であり、眼科での受診の勧めは不要である。
- 2 視力は0.9～0.7であり、再検査で「B」以下の判定であれば眼科での受診を勧める。
- 3 視力は0.6～0.3であり、再検査で「B」以下の判定であれば眼科での受診を勧める。
- 4 視力は0.6～0.3であり、眼科での受診を勧める。

[問 3] 定期健康診断における結核の問診の実施学年として適切なものは、次の1～4のうち
どれか。解答番号は 。

- 1 小学校、中学校全学年である。
- 2 小学校、中学校及び高等学校全学年である。
- 3 小学校1年生、中学校第1学年及び高等学校第1学年は除外できない。
- 4 小学校4・6年生、中学校第2学年及び高等学校第2学年は除外できる。

[問 4] 次の図は、小学校2年生のある児童の身長・体重発育曲線である。下の(1)、(2)の各問に答えよ。



(1) この児童の疾患として考えられるものとして最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 SGA性低身長症
- 2 思春期早発症
- 3 神経性食欲不振症
- 4 成長ホルモン分泌不全性低身長症

(2) この児童は、身長129cm、体重42kgである。身長別標準体重を用いて算出したこの児童の肥満度 [%] として最も適切なものは、次の1～4のうちではどれか。ただし、身長別標準体重を27.3kgとする。解答番号は 。

- 1 25.2
- 2 27.3
- 3 53.8
- 4 195.7

[問 5] エイズに関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 サイトメガロウイルス感染によって生じ、適切な治療により発症を抑えることができることから、早期に発見することが重要である。
- 2 感染初期は、カリニ肺炎などの日和見感染症を発症しやすくなり、食欲低下、下痢、低栄養状態、衰弱などが著明となる。
- 3 無症候期は、感染症に特徴的な症状はほとんどないが、無症候期を過ぎると、発熱、倦怠感、リンパ節腫脹などが出現し、帯状疱疹などを発症しやすくなる。
- 4 エイズ発症期は、症状は無自覚の程度から無菌性髄膜炎に至る強いものまで、その程度は様々であり、インフルエンザにも見られる咽頭痛、筋肉痛、頭痛などの症状が出現する。

[問 6] たばこに含まれる有害物質ア～ウと、その物質による体への影響に関する記述 A～C との組合せとして適切なものは、下の 1～6 のうちのどれか。解答番号は 。

- ア タール
イ ニコチン
ウ 一酸化炭素

- A 血液中でヘモグロビンと強く結びつき、体内での酸素の運搬を阻害する。
B 脳に働いてたばこをやめにくくさせる依存性のほか、毛細血管を収縮させるため、心臓に負担をかけ、肌の老化を進める。
C 健康な細胞をがん細胞に変化させる発がん作用や、がん細胞を増やすがん促進作用がある。

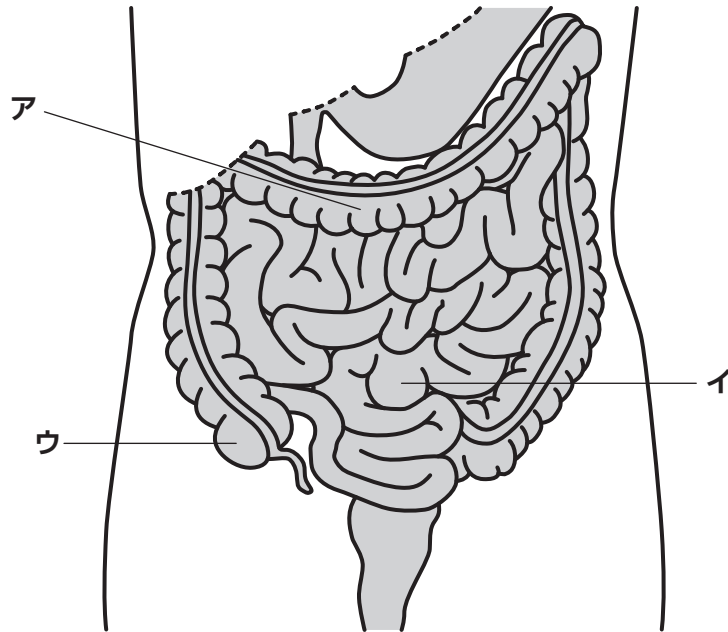
- | | | | |
|---|-----|-----|-----|
| 1 | ア－A | イ－B | ウ－C |
| 2 | ア－A | イ－C | ウ－B |
| 3 | ア－B | イ－A | ウ－C |
| 4 | ア－B | イ－C | ウ－A |
| 5 | ア－C | イ－A | ウ－B |
| 6 | ア－C | イ－B | ウ－A |

4 ヒトのからだの仕組みと疾病に関する次の各問に答えよ。

[問 1] 次の図は、消化器の構造の一部を模式的に表したものである。図中の器官ア～ウの名称として適切なものは、下の1～9のうちどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号はアが

17、イが 18、ウが 19。

図



- 1 回腸
- 2 直腸
- 3 盲腸
- 4 空腸
- 5 虫垂
- 6 下行結腸
- 7 横行結腸
- 8 S状結腸
- 9 結腸ヒモ

[問 2] 次の記述は、ある疾病に関するものである。この疾病の名称として最も適切なものは、下の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

HPV（ヒトパピローマウイルス）感染が発症に関わると言われている。異形成の時期では、無症状のことが多い。

- 1 卵巣癌
- 2 乳癌
- 3 肝癌
- 4 子宮頸癌

[問 3] 頭痛に関する記述として最も適切なものは、次の 1～4 のうちではどれか。解答番号は 。

- 1 緊張型頭痛は、頭が締め付けられるような頭痛が特徴で、ストレスとの関連が深く、特に夕方に増悪する傾向にある。
- 2 片頭痛は、閃輝暗点などの前兆が必ず見られ、片側の頭痛が特徴で、両側の頭に移行することが多い。
- 3 髄膜炎による頭痛は、急性で激しい頭痛が特徴で、項部硬直やケルニツヒ徴候などの頭蓋内圧亢進症状を伴うことがある。
- 4 頭部外傷に伴う頭痛は、一過性の頭痛が特徴で、慢性型の頭痛になることはない。意識障害や片麻痺を呈することが多い。

[問 4] 次の記述は、甲状腺に関するものである。記述中の空欄 ～ に当てはまるものとして適切なものは、下の 1～7 のうちのどれか、それぞれ選び答えよ。解答番号は が 、 が 、 が 、 が 。

気管の上端全面にある重さ10gから20gの小さな臓器である。羽を広げた蝶の様な形をしていて、気管を取り囲むように位置している。血液中の を能動的に取り込み、取り込んだ を主原料として甲状腺ホルモンを作る。甲状腺ホルモンは、 から分泌される甲状腺刺激ホルモンによって調節される。甲状腺ホルモンの分泌が過剰になると に、分泌が不足すると になる。

- 1 下垂体前葉
- 2 松果体
- 3 腎臓
- 4 ヨウ素
- 5 ブドウ糖
- 6 バセドウ病
- 7 クレチン症

5

今日的な教育課題に関する次の問に答えよ。

〔問〕 次の記述は、高等学校の養護教諭が自殺予防教育に関する教員向けの研修を行った事例である。記述中の下線部①～④のうち、「子供に伝えたい自殺予防 学校における自殺予防教育導入の手引」（文部科学省 平成26年7月）に照らして**適切でないもの**は、下の1～4のうちのどれか。解答番号は 26。

養護教諭Aは、研修の最後に、教員からの質問を受け付けた。

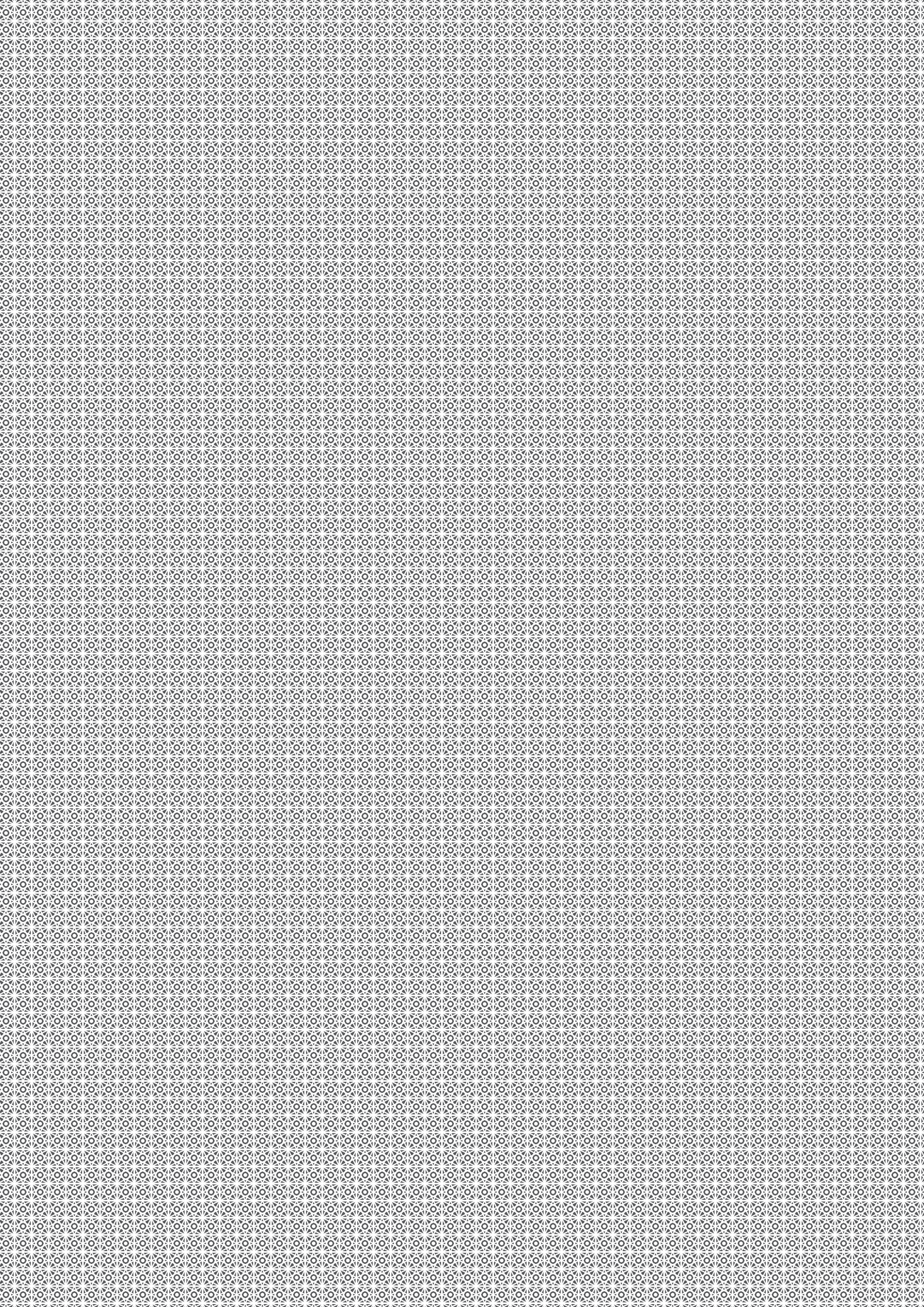
教諭Bから、「生徒から『自殺したい』と打ち明けられたら、どのように対応したら良いでしょうか。」と質問があった。養護教諭Aは、「① そのような気持ちを聞かされた人は、不安のあまり、話をそらそうとしたり、激励したり、叱ったりしかねません。しかし、まずは徹底的に聞き役に回ってください。絶望的な気持ちを正面から受けとめてくれる人がいることは、自殺予防の第一歩になります。」と答えた。

教諭Cから、「ひとつの出来事が自殺につながるのでしょうか。」と質問があった。養護教諭Aは、「② 自殺に至るまでには長い道のりがあり、ひとつだけでなく、いくつもの問題が積み重なっているのが一般的です。そして、葛藤が大きければ大きいほど、表面的にはごく些細に思える出来事がきっかけで自殺が起きることもあります。」と答えた。

教諭Dから、「どのように生徒と自殺について話し合うべきでしょうか。」と質問があった。養護教諭Aは、「③ 苦しい状況に追いこまれて自殺を深刻に思い浮かべるようになることは、長い人生の中で多くの人に起こり得ることを説明します。しかし、そのような状況で絶望的になってしまうのは異常なことであると伝え、主に自殺の否定的な面に焦点を当てた話をすることが大切です。」と答えた。

教諭Eから、「リストカットをしている生徒には、どのように接すれば良いのでしょうか。」と質問があった。養護教諭Aは、「リストカットを繰り返す子供の絶望感を受けとめつつも、問題に対処するためにそれ以外の方法を一緒に考えていきます。④ 一時的にでも他に注意をそらす練習をすることも効果があります。リストカットに及ぶ子供の多くは自分の価値を不当なまでに低く見ていることが多いので、自尊感情を高めるために働き掛けていくことも大切です。」と答えた。

- 1 下線部①
- 2 下線部②
- 3 下線部③
- 4 下線部④





| 問題番号 | | 解答 番号 | 正答 | 配点 | 備考 | |
|------|----|----------|----|----|----|---|
| 大問 | 小問 | | | | | |
| 1 | 問1 | 1 | 4 | 4 | | |
| | 問2 | 2 | 2 | 4 | | |
| 2 | 問1 | 3 | 4 | 4 | | |
| | 問2 | A | 4 | 4 | | |
| | | B | 5 | 3 | 4 | |
| | 問3 | 6 | 4 | 4 | | |
| | 問4 | 7 | 2 | 4 | | |
| 3 | 問1 | (1) | 8 | 2 | 5 | |
| | | (2) | 9 | 1 | 5 | |
| | 問2 | (1) | 10 | 2 | 5 | |
| | | (2) | 11 | 2 | 5 | |
| | 問3 | | 12 | 1 | 5 | |
| | 問4 | (1) | 13 | 2 | 5 | |
| | | (2) | 14 | 3 | 5 | |
| | 問5 | | 15 | 3 | 5 | |
| | 問6 | | 16 | 6 | 5 | |
| | 4 | 問1 | ア | 17 | 7 | 4 |
| イ | | | 18 | 1 | | |
| ウ | | | 19 | 3 | | |
| 問2 | | | 20 | 4 | 5 | |
| 問3 | | | 21 | 1 | 5 | |
| 問4 | | ア | 22 | 4 | 2 | |
| | | イ | 23 | 1 | 2 | |
| | | ウ | 24 | 6 | 2 | |
| | | エ | 25 | 7 | 2 | |
| 5 | 問 | | 26 | 3 | 5 | |